

# 風の流れ視覚化

九大研究所

## 発電適地選ぶシステム開発

福岡市の博多湾で洋上風力発電の実証実験を行っている九州大応用力学

し、風車を建設する適地を選ぶコンピュータシステムを開発した。

究所が開発した風況予測ソフトウエア「リアムコンパクト」を用いて解析し、場所ごとの具体的な風向きと風速の予測をコンピュータグラフィッ

クス(CG)で表す。一目で、風車設置の適地が分かるほか、設置予定地点の年間発電量や設備利用率などを算出できるという。

内田准教授は「これらの風力発電には実用性が求められる。風を把握する精度を高めて効率の良い発電を実現させた」と話している。

紀准教授(風工学)らが複雑な風の流れを視覚化

が配信する大気の状態変化を数値的に計算、同研

究所が開発した風況予測ソフトウエア「リアムコンパクト」を用いて解析し、場所ごとの具体的な風向きと風速の予測をコンピュータグラフィッ